

令和5年度当初予算の内容② 《スクラップ編》

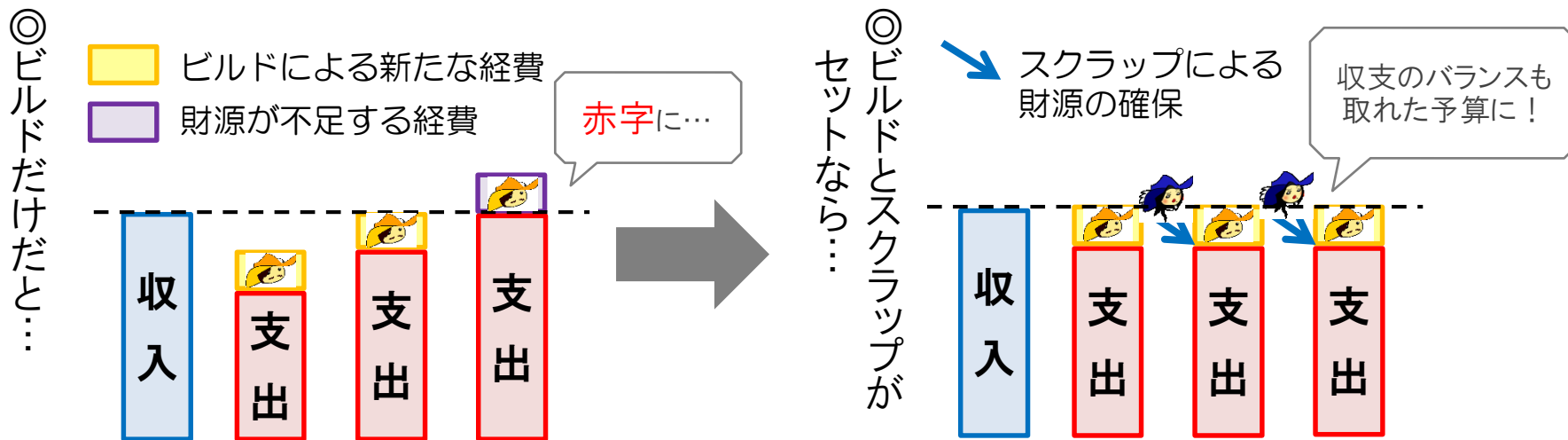


「今」と「将来」のための**ビルド**事業の説明に
続いて「**財政の健全性**」の確保について説明
するで！

確か**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）と
スクラップ（既存事業の見直し）はセットだっ
たよね！



そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまうんだよ。



左の図のように、**ビルド**だけやと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、收支のバランスを取ることができるねん。



ってことは、令和5年度予算の編成時にも**スクラップ**に取り組んだのね！

既存事業の見直しは、時代に適した内容になるようにサービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、令和4年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！



まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふういろいろな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

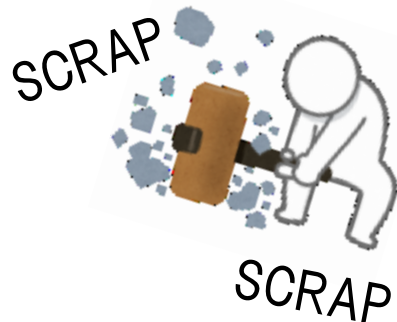
単純にサービスを止めてしまっ
ただけじゃないのよね。





令和5年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、
システム保守委託の内容を見直したり（695
万円減）してん。
合計で約8,300万円の見直しになるで。



実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和5年度は、LED化に伴う街路灯等の
電気料金の減による見直し（736万円減）
などがあるで。



「最少の経費で最大の効果」を発揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約3,700万円も見直
しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を
図ったり、実情に沿って見直すことやで。

補助金などをこれまでの実績を踏ま
えて精査することで、
約1,000万円も削減してん。



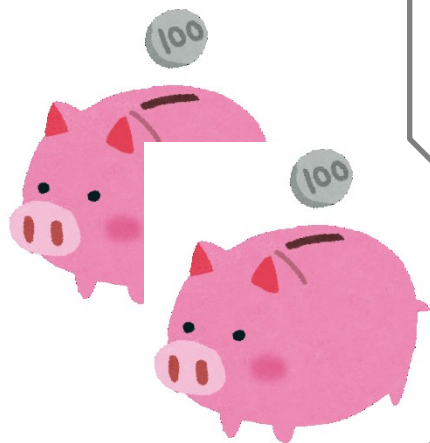
必要に応じて見直せば、新たな
サービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。
サービスを見直して支出を抑制するだけ
やなく、利用の適正化や収入を増やして
財源を確保する方法やで。

令和5年度は、学習・生活支援事業に係る国
庫補助金の収入等が増えて約580万円歳入を
確保できてんで。



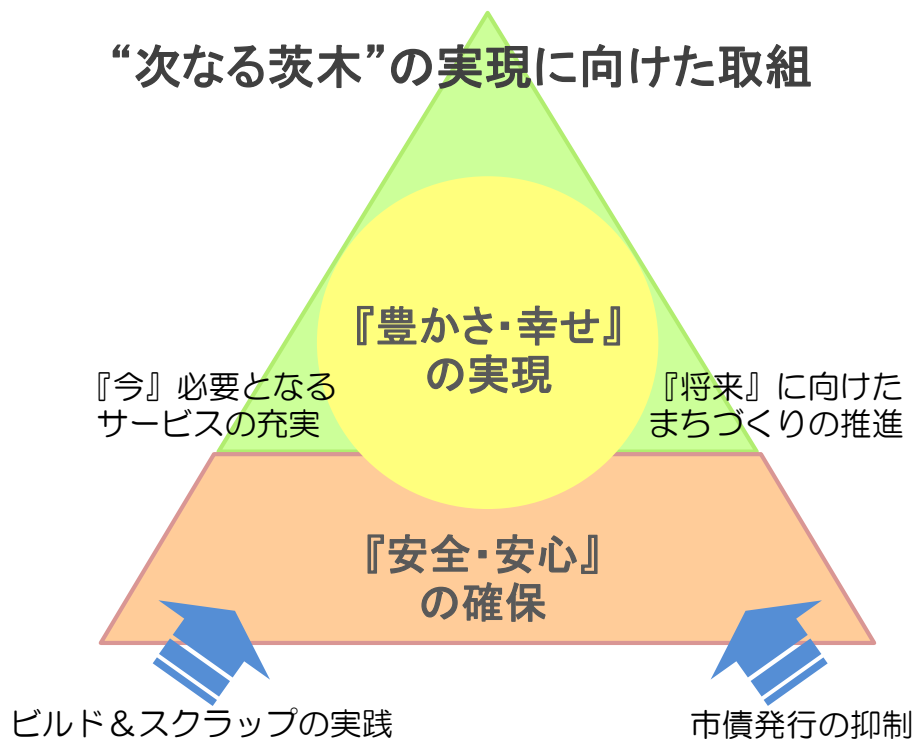
工夫を凝らした歳入の確保等にも
取り組んでいるんだね！





「**財政の健全性**」の確保には、**ビルド&スクラップ**の実践のほかにも、**ハード事業を適切に選択して市債（借金）を抑制**をする方法もあるんだよ。市債の償還費用が、将来世代に重くのしかからないようにしないとね。

“次なる茨木”の実現に向けた取組



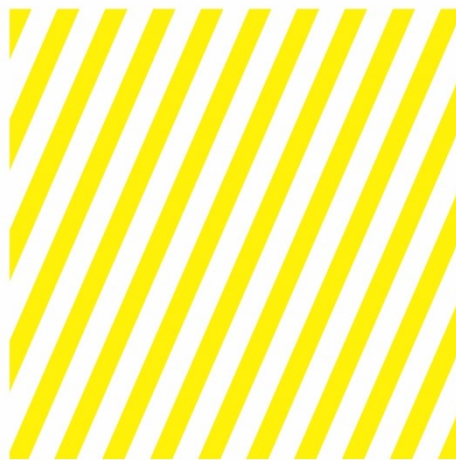
健全化の取組みによって、
将来にわたる健全財政を
確保してるのね！



令和5年度も「**財政の健全性**」を確保して「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

